



気持ちをつなげて 体育大会

掴み取れ姫工魂



発行所

兵庫県立姫路工業高等学校

姫路市伊伝居 600 番地 1

(079) 284-0111

編集発行

新聞部

編集責任者 片山 仁

今年から 1 年生と 2 年生も音楽を流して演技をしていた。1 年生の演技は集団行動だった。大きな声とキレのある動きで見るものの心を鷲掴みにした。細部にわたるまで揃った素早い動きからは彼らの強い絆が見えた気がした。2 年生の演技は集団行動と騎馬戦だった。全員が一斉に動く場面ではスピードや動きが全て揃っており静止する場面では全員ピッタリと止まる。騎馬戦では科ごとに分かれトーナメント戦のように競技が繰り広げられた。観客を大いに沸かせた。3 年生はダンスを披露。映画グレイテスト・ショーマンの曲に合わせてエネルギーに満ちた踊り付けで踊り、最後は人文字で学科ロゴを作った。最高学年として不足のない素晴らしい演技だった。来年は 2 年生 1 年生とともに今年以上のパフォーマンスを見せてくれることを期待したい。

（3D 福岡）

今年、高校の体育大会最後の学年演技となった 3 年生の演技は、映画グレイテスト・ショーマンの主題歌である「The Greatest Show」の曲に合わせて、エネルギーに満ちた踊りを披露した。ダンスリーダーの小谷さん、藤井さん、盛岡さんに話を聞くと、ダンスの振り付けが大変だったと語った。1 日という限られた短い時間の中で他の科のダンスリーダーにフリの伝えたり、強力し合うのも全体をまとめることも大変だったそうだ。ダンスの振り付けは 3 月の中旬に考え始めたらしく、体育大会までの約 4 ヶ月、演技をより良いものにと頑張ったと語った。



2 学年では、勝川先生に話を聞いた。自分が所属しているところを好きにならないと人生は楽しくならないという考えから、してほしいと文句ばかり言うのではなく、自分が所属している所を愛して生活してほしいという思いから、この人文字にすることを決めたそうだ。



各学年の演技では、それぞれ個性あふれるロゴマークが披露された。そのロゴマークについて各学年団の先生方に話を聞いた。

1 学年の演技では、今までにない形からスタートしたかったため、今までは最後に行っていた人文字をスタートに持つてくることで例年とは一味違う演技を披露した。人文字では、ボンボンを持ったデザイン科が前に一列に並び、溶接科がデザイン科の後ろでウエーブを行った。姫路工業高校 78 回生の文字を作る人数を考慮した上で「HK78」と省略した。

ハートは大きく過ぎると見栄えが悪くなり、電子機械科の人数も少ないため、小さいハートにしたことだった。



76 回生の高校生活の 3 年間は、コロナによる影響でさまざまな行事に規制がかかり、自分達を表現する機会を逃してきた。しかし、今年は規制緩和で、本来の体育祭の姿を取り戻し、この一瞬のために、慣れないダンスや隊列の動きも 76 回生一丸となって日々練習に励み、横断幕に書いてある「雲外蒼天（うんがいそうてん）、龍翔鳳舞（りゅうしょうほうぶ）」の文字には「時には苦しいことや衝突もあったが、一つの目標に向かい高校生活最後の体育祭、龍のように駆け上がり、鳳凰のように舞う力強いパフォーマンスを、今までお世話になった人たちに届きたい」という思いが込められている。

（3D 小林）



3 学年は、西岡先生とダンスリーダーで相談し、今までの文字の人文字ではなく、学年のロゴマークにする方が面白いだろうとこの人文字に挑戦することとなった。他学年の生徒が何の人文字かわからなくても、3 学年にだけ関係のある人達にだけでも伝われば良いという思いで行ったそうだ。

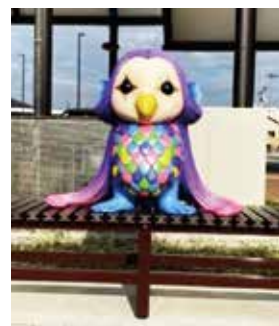


今回私たちは JR 播但線に乗って福崎町に行つた。ここ福崎町には JR 福崎駅をはじめ、お店や施設、公園などさまざまな妖怪たちがいる。「なぜ福崎に妖怪がいるの？」という理由までご存じの方は、少ないかもしれない。この町に妖怪がいる理由は、柳田國男が生まれ育つた地であるからなのだ。柳田國男は、日本民俗学の創始・確立に尽力し、日本民俗学の父とも言われている。民俗学とは「昔の暮らしを研究し、現在に繋がる歴史を学ぶ」というもの。その研究対象となつていく伝説や言い伝えの中に「妖怪」たちがいるというわけだ。

今回私たちは JR 福崎駅に降り、河童とアマビエを見てきた。河童は毎時 7 分、22 分、37 分、52 分に水槽から出てくるが、その容姿は想像以上にリアルで不気味だった。他にもファミリーマート福崎南インター店に一反もめん、辻川観光交流センターに雪女、もちむぎのやかたに座敷童など総数 20 もの妖怪ベンチが設置されている。ホームページには妖怪ベント探索マップも掲載されているので、少しでも歴史や妖怪に興味のある方はぜひ妖怪たちと写真を撮ったり、自然を満喫したり、素敵な思い出作りに福崎町に行ってみてはどうだろうか。

（3D 黒田）

ごーしんぶん



今回 2023 年 3 月 8 日福崎町にオープンした「minosa primaverat」モザプリマヴェラ」に行つて来た。同町で人気のイタリアンレストラン「Pizzeria da FORE」の店主の奥さんが営むパティスリーで、上質な素材を使ったケーキとジェラートが自慢のお店だ。地元産のもち麦を使った「福崎町スイーツ」もあった。

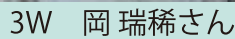
今回私たちは、お店のオススメである期間限定の「いちごソルベ」と「もち麦ミルク」のジェラートを食べた。ひなな農園の完熟イチゴをたっぷり使った「イチゴのソルベ」は、イチゴをそのまま食べるよりも甘さが凝縮されていて濃厚であり、果肉をかじったときにジュワツとあふれ出るようなジューシさも楽しめる。もち麦ミルクは、もち麦を使った「風変わったフレーバー」。もち麦とジェラートという想像もつかない組み合わせだが、もち麦にはほうじ茶のような芳しさがあがり、もち麦独特のモチモチとした食感がクセになるものだった。

ジェラートだけでなく、手土産などにぴったりな焼き菓子も十種類ほど常備しており、イタリア菓子やフランス菓子など、豊富に取りそろえてある。また福崎を訪れた際には他のものも味わってみたいと思う。

（3D 沼田）



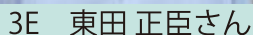
今回話を聞いてこれまで全く知らなかった溶接に少し興味が沸いた。溶接に興味があり、溶接を極めたい、自



令和5年5月20日に東大阪高等技術専門学校で、令和5年度若年者ものづくり競技大会(電工職種)近畿大会が開催され、電気科3年生の東田正臣さん(播磨中)が優勝し、兵庫県代表となった。

インタビュ―では、兵庫県大会の時には、ケープブルの蛇行やP.F.管のねじれ、効率的な作業が満足のいく出来ではなかったので、近畿大会には1週間徹底的に練習を積んで臨んだと語った。

若年者ものづくり競技大会（電工職種）全国大会は8月1日・2日に、静岡県で開催される。まだ、課題は公表されていないが、全国大会に備えて基本作業を反復練習し、全国大会で優勝を目指す、と意気込んでいた。



▶小谷さんの原画

デザイン科3年小谷結彩さん(稲美北中)が日本医療福祉生活協同組合連合会主催の「2023年WHO5・31世界禁煙デーポスターコンクール」において最優秀賞を受賞した。

ポスター作品は全国の9
生協から61作品の応募があ
り、医療福祉生協連健康づく
り委員会によるオンライン投
票にて入賞作品が決定し、小

谷さんの作品が選ばれ、3月23日(木)に本校にて表彰式が行われた。今回、受賞した小谷さんに話を聞いたところ、子供に煙を吸わせたくないという思いで誰にでも分かりやすいイラストにし、吸う場所と吸わない場所のけじめをつけてほしいと話した。

放送部は2年生の5人が主力である。5人が入部してきた時、先輩は居なかった。入れ替わりで卒業していたからだ。だから1年生の時には手探りで仕事を覚え、式典の裏方など行事の放送の仕事をしていた。2年生になった今年、5月の中間考査後、昼の放送にチャレンジすることにした。1週間に木曜日1回だけだが、概ね好評を得ることが出来た。そんな放送部であるが、体育大会の後、良いニュースがあった。1年生3人が入部してくれたのだ。後輩も出来た放送部、今後の活躍に期待したい。(3R片山)

◀ 川上さんの原画

また、2023年「海の日」ポスターデザインコンクールにてデザイン科2年生の川上心優さん（山陽中）の作品が大賞を受賞した。

「海の日」をテーマに、「海の日」を紹介するとともに、「海」の大切さ、海事産業の重要性を広く一般に訴えかけるようなポスターということ、応募総数1398点の中から川上さんの作品が選ばれた。5月11日（木）には東京で表彰式があり、審査員の方から川上さんに直接表彰状が贈られた。川上さんの作品は全国各地で掲示されるそう

7月16日(日)・17日(月)の2日間、姫路城前大手公園にて、スマイルフェスタ2023が行われ、本校も学校として1ブース参加した。

W科生徒による小学生向け工作教室、M科生徒によるわたあめ作り体験、D科・R科・E科生徒によるキールホルダー配布などを行い、物販ブースではあったが、料金は取らず、災害義援金という形で気持ちをいただいた。

W科の工作教室は、段ボール製の恐竜の骨を組み立てる内容で、小さい子をつれた親子連れが途切れることなく参加していた。M科のわたあ

め作りの機械は、昨年度の課題研究で作られたもので、小さい子は楽しそうに割り箸にわたあめを絡ませていた。キーホルダーは、Ｒ科のものはアクリル板で、Ｄ科のものは皮革で、と素材は違うものの、どちらも昨年度導入され

という悲劇があり、偶然生き残つた一匹の金魚が、今池の中で泳いでいるのである。

機会があれば是非のぞいてみてほしい。

（3D福岡）



職員室前に置いてあるホワイトボード、そこに描かれている可愛いキャラの絵を、みなさんはご存知だろうか。今回、その絵を描く2人の先生に話を聞いた。

2年生掲示板の絵は、2学年学年付M科の吉川先生が描いている。きつかけは1年時の学年主任に掛けと言われたからだそうだ。キャラの基準は、パーツが大きく描きやすいものとのことだった。



3年生掲示板的絵は、3学年学年付C科の平野先生が描いている。もう3年間も続けているようだ。きっかけは、掲示に隙間があったことと、絵をきつかけにして掲示板を見にくれるかなと考えたからだという。描くキヤラの基準は、難しくないことと、先生方も馴染みのあるキヤラであること。行事にあるかなんだ絵を描くこともあるという。

2人とも週替わりで絵を変えている。絵をきつかけに声を掛けられたり、褒められたりすることもあり、嬉しいそうだ。これからも2人の楽しい絵に注目していきたい。

(2D野村)



大型のレーザー加工機で作られ、姫路城が刻まれている人気があった。

両日とも炎天下ではあったが、生徒有志が交代で対応していた。2日目にはフェスタステージの司会だったタザン山下氏に呼ばれ、中央ステージで学校宣伝を行うこともできた。W科3年の岡さんは「生ターザンと話せて良かったです!でも喝を入れてもらったの忘れてた!」と語ってくれた。参加した皆さん本當にお疲れ様でした。



沈思默工

1学期は、例年通り実施できた行事が多かった。特に、体育大会は久しぶりに、新型コロナウイルスの影響をうけずに開催することができた。3年生にとっては最後の体育大会、最高の思い出を作ることができたのではないだろうか。各学年の演技もとても素晴らしいものだった。各科の全力でクラスの仲間を応援する姿を見て、全員が全てのプロ

いう人は、夏休みにしつかりと今回のテストと一学期の復習をしておこう。この長い休みをどう使うかで今後の成績に差がついてくるのではないだろうか。テストが終わって夏休みだからといって気を抜かず自分の進路のために自分から行動しよう。▼新聞部は現在3年生5名で活動している。1、2年生の部員が一人もおらず、このままでは来年限部になってしまうかもしれない。文章を書くのが苦手だ、という人でも指導してもらえるので大丈夫。逆に文章力が上がり、またイラストレーターの使い方も身につくことができる。少しでも興味がある人はデザイン科棟2階CG実習室で活動しているので、ぜひ来てほしい。



(3D 福岡)